

くらし

鉄道旅行



とよはし市電を
愛する会理事
杉浦 顕倫

青春18切符の季節である。この夏は8月31日までの発売、9月10日まで有効。JR線普通列車に乗り放題。任意の5日間有効。複数人数での利用も可能。ムーンライトながら号(大垣〜東京)などの夜行の活用が遠くへ足を延ばす鍵でもあるが、夜行は鉄道よりバスの方がはるかに多くの路線が存在する。

豊橋朝6時発の東海道線米原行きに乗車。敦賀・金沢と乗り換え富山着は14時9分。ここまでで18切符1日分2300円しかかかっていない。



臨時夜行ムーンライト九州

豊橋市電にこの冬導入されるLRVが本格的に走る富山ラ

山の高速バスに注目してみたい。東海北陸道が全通して時刻が改正され便利になった。たとえばこんな旅が考えられる。

イトレルに体験乗車。(往復400円) 富山17時40分発の高運賃は4500円。合計6800円で北陸一周旅行の出来上がり。

この区間のバス、夜行便もある(JRバス)金沢21時30分・富山23時55分〜名古屋着翌日6時30分着。バス運賃は4900円。旅費はやや上がるが現地滞在時間が大幅に増える。

金沢を半日歩いた後一杯引っ掛けてからバスに乗る事も可能である。酒代までは責任持てないが、大型時刻表を用意して、インターネットでの情報も併用するのがよい旅をつくるコツである。

フリー切符の旅

青春18切符を活用しよう